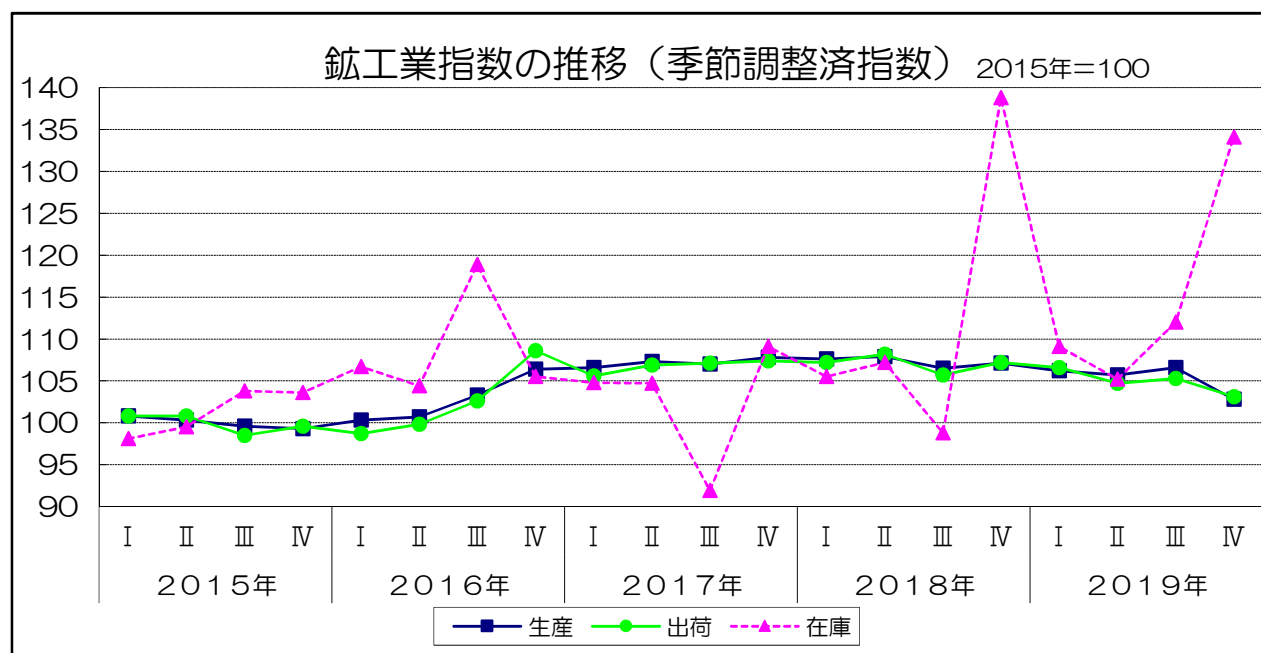


令和元年福岡県鉱工業指数の動向

1 概況

(1) 業種別動向（全19業種・主要業種の動向はp.5以降を、全業種の推移はp.13以降を参照）

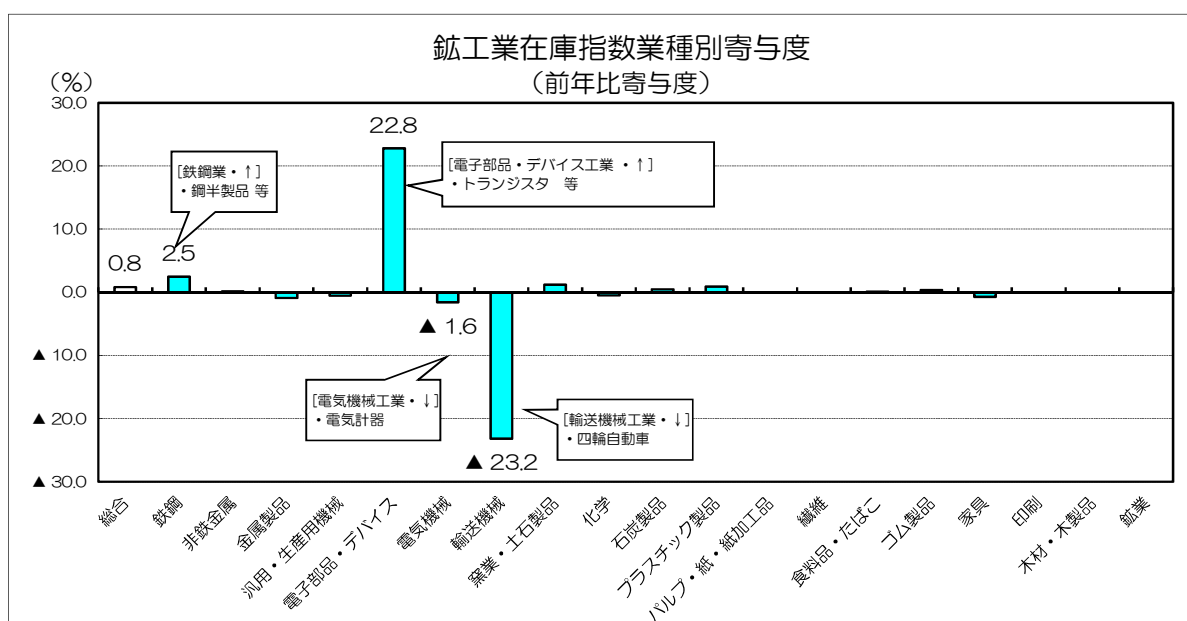
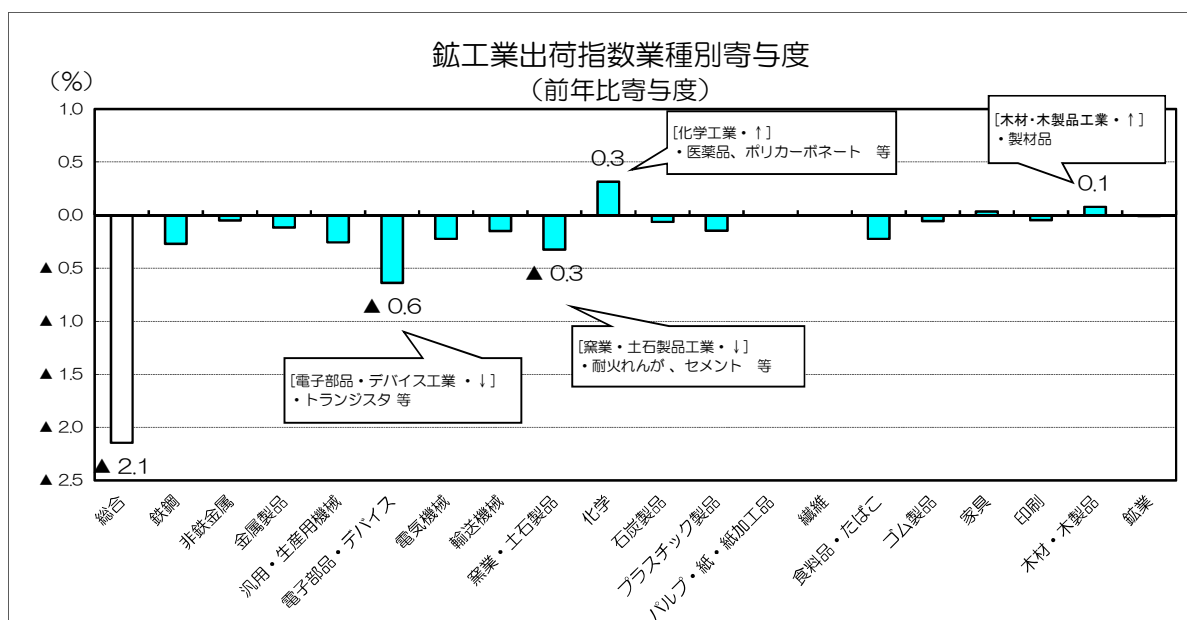
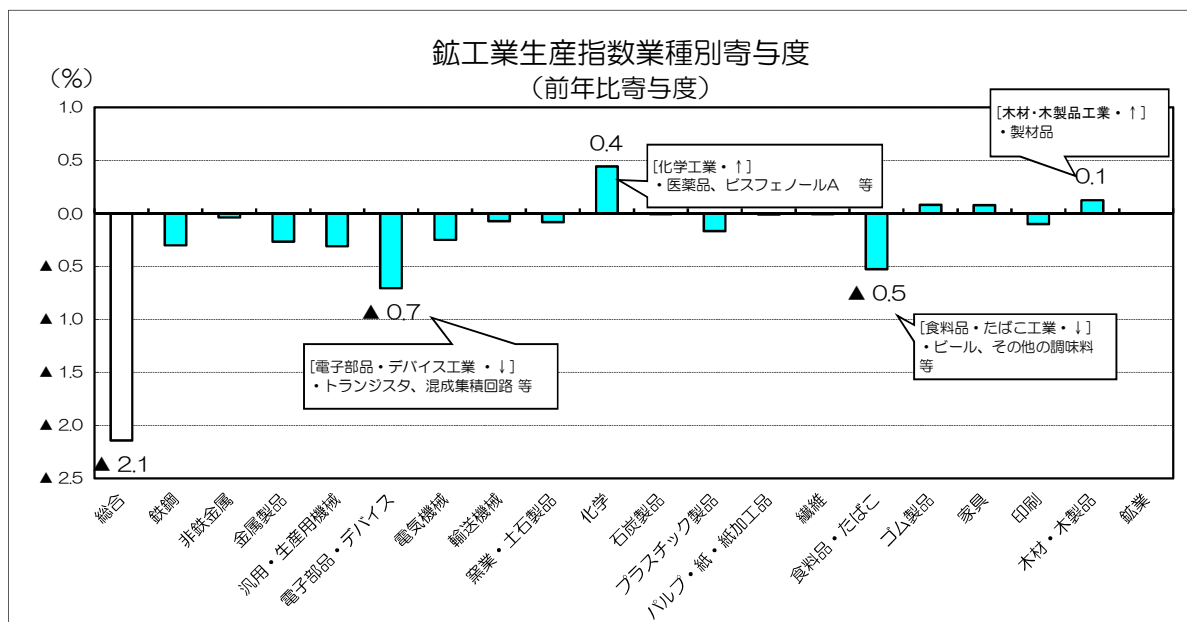
- ① 生産
2019年の生産指数は105.1で、前年比2.1%減の低下となった。
業種別では、化学工業、木材・木製品工業など4業種は上昇したものの、
電子部品・デバイス工業、食料品・たばこ工業など15業種が低下した。
- ② 出荷
2019年の出荷指数は104.9で、同2.1%減の低下となった。
業種別では、化学工業、木材・木製品工業など3業種は上昇、
パルプ・紙・紙加工品工業は横ばいとなったものの、
電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業など15業種が低下した。
- ③ 在庫（全18業種）
2019年の在庫指数は136.9で、同0.8%増と5年連続の上昇となった。
業種別では、輸送機械工業、電気機械工業など10業種は低下したものの、
電子部品・デバイス工業、鉄鋼業など8業種が上昇した。



鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年				
						I	II	III	IV
生産	100.0	102.7	107.1	107.4	105.1	106.2	105.7	106.6	102.8
前期（年）比	3.1	2.7	4.3	0.3	▲ 2.1	▲ 0.8	▲ 0.5	0.9	▲ 3.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 1.4	▲ 2.9	0.7	▲ 4.7
出荷	100.0	102.5	106.7	107.2	104.9	106.6	104.7	105.3	103.1
前期（年）比	4.6	2.5	4.1	0.5	▲ 2.1	▲ 0.6	▲ 1.8	0.6	▲ 2.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 0.7	▲ 3.5	0.1	▲ 4.6
在庫	101.2	102.0	104.7	135.8	136.9	109.1	105.2	112.0	134.1
前期（年）比	9.2	0.8	2.6	29.7	0.8	▲ 21.4	▲ 3.6	6.5	19.7
前年同期比	—	—	—	—	—	5.1	▲ 5.9	9.7	0.8



※枠内の品目については、各業種の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載

(2) 財別動向（生産・在庫の詳細はp.38以降を参照）

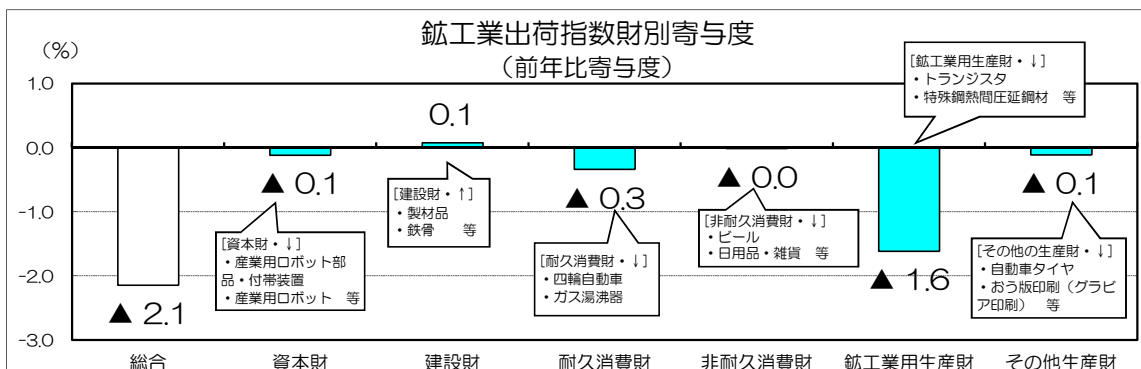
財別の出荷指数を用いて、耐久消費財、資本財などの財の需要動向や、財の動きを通して最終需要の動きを把握することができる。

- 総合出荷指数は104.9で、前年比2.1%減の低下となった。最終需要財は同0.7%減と2年連続の低下となった。生産財は同4.6%減の低下となった。
- 最終需要財のうち、資本財は、産業用ロボット部品・付帯装置、産業用ロボットなどが低下したため、同1.6%減の低下となった。建設財は、製材品、鉄骨などが上昇したため、同1.5%増と2年ぶりの上昇となった。
耐久消費財は、四輪自動車、ガス湯沸器が低下したため、同0.9%減の低下となった。非耐久消費財は、ビール、日用品・雑貨などが低下したため、同0.1%減で3年連続の低下となった。
- 生産財のうち、鉱工業用生産財は、トランジスタ、特殊鋼熱間圧延鋼材などが低下したため、同5.0%減の低下となった。その他の生産財は、自動車タイヤ、おう版印刷（グラビア印刷）などが低下したため、同2.1%減と3年ぶりの低下となった。

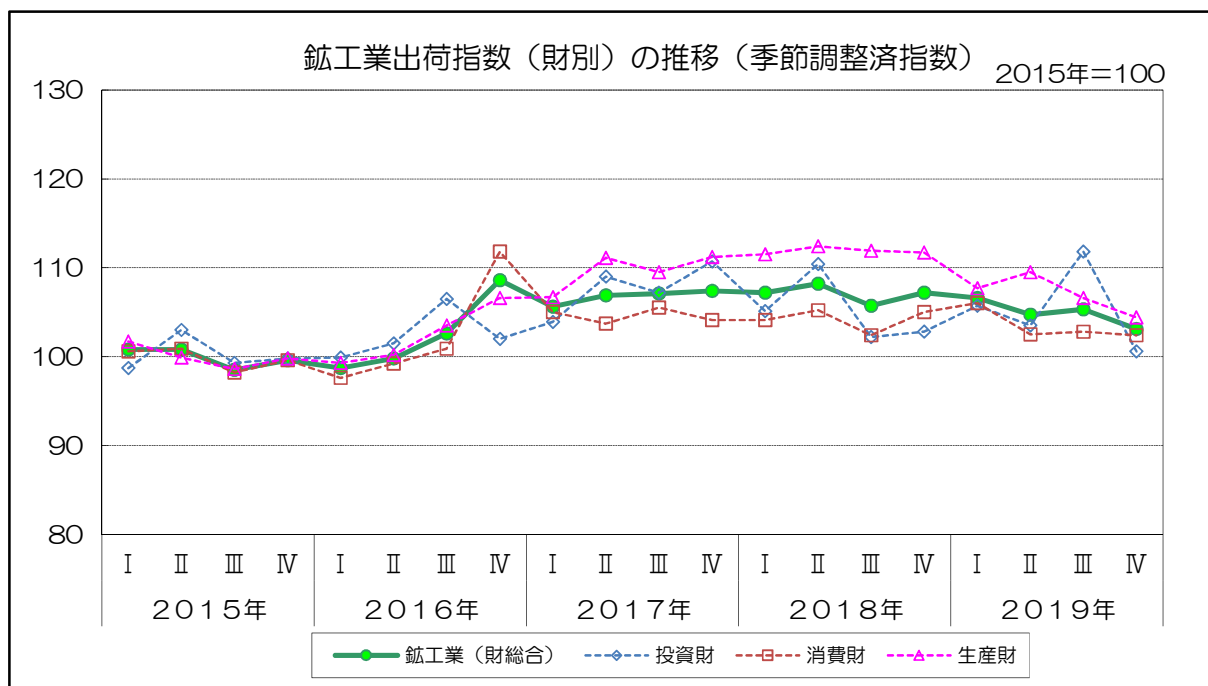
鉱工業出荷指数（財別）の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	I	II	III	IV
鉱工業総合	100.0	102.5	106.7	107.2	104.9	106.6	104.7	105.3	103.1
前期（年）比	4.6	2.5	4.1	0.5	▲2.1	▲0.6	▲1.8	0.6	▲2.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲0.7	▲3.5	0.1	▲4.6
最終需要財	100.0	102.6	105.0	104.4	103.7	106.1	102.3	104.4	102.2
前期（年）比	5.7	2.6	2.3	▲0.6	▲0.7	1.7	▲3.6	2.1	▲2.1
前年同期比	—	—	—	—	—	1.7	▲3.7	2.6	▲3.2
投資財	100.0	102.3	107.8	105.2	104.8	105.7	103.5	111.8	100.6
前期（年）比	0.9	2.3	5.4	▲2.4	▲0.4	2.8	▲2.1	8.0	▲10.0
前年同期比	—	—	—	—	—	0.9	▲7.3	10.5	▲5.2
資本財	100.0	101.1	109.5	105.8	104.1	103.8	102.3	112.4	99.4
前期（年）比	6.6	1.1	8.3	▲3.4	▲1.6	2.5	▲1.4	9.9	▲11.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲4.0	▲10.0	12.4	▲4.6
建設財	100.0	104.2	105.3	104.3	105.9	109.7	106.2	110.0	100.1
前期（年）比	▲6.8	4.2	1.1	▲0.9	1.5	5.6	▲3.2	3.6	▲9.0
前年同期比	—	—	—	—	—	8.7	▲3.1	7.5	▲5.9
消費財	100.0	102.7	104.4	104.2	103.5	106.0	102.5	102.8	102.4
前期（年）比	7.0	2.7	1.7	▲0.2	▲0.7	1.0	▲3.3	0.3	▲0.4
前年同期比	—	—	—	—	—	2.0	▲2.6	0.7	▲2.9
耐久消費財	100.0	102.0	105.0	106.4	105.4	108.9	103.0	104.7	104.7
前期（年）比	8.3	2.0	2.9	1.3	▲0.9	0.6	▲5.4	1.7	0.0
前年同期比	—	—	—	—	—	3.6	▲4.5	0.8	▲3.9
非耐久消費財	100.0	104.6	102.9	98.9	98.8	99.1	99.1	98.7	97.7
前期（年）比	3.7	4.6	▲1.6	▲3.9	▲0.1	1.0	0.0	▲0.4	▲1.0
前年同期比	—	—	—	—	—	▲2.8	1.9	0.3	0.1
生産財	100.0	102.3	109.7	112.0	106.9	107.7	109.5	106.6	104.4
前期（年）比	2.8	2.3	7.2	2.1	▲4.6	▲3.6	1.7	▲2.6	▲2.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲4.7	▲3.0	▲3.9	▲6.7
鉱工業用生産財	100.0	103.7	112.5	115.1	109.3	110.4	111.5	108.7	107.1
前期（年）比	3.7	3.7	8.5	2.3	▲5.0	▲3.7	1.0	▲2.5	▲1.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲5.3	▲3.9	▲4.6	▲6.5
その他用生産財	100.0	95.5	95.9	97.2	95.2	96.1	98.0	96.4	92.0
前期（年）比	▲1.7	▲4.5	0.4	1.4	▲2.1	▲3.2	2.0	▲1.6	▲4.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲1.1	1.9	▲0.3	▲7.9

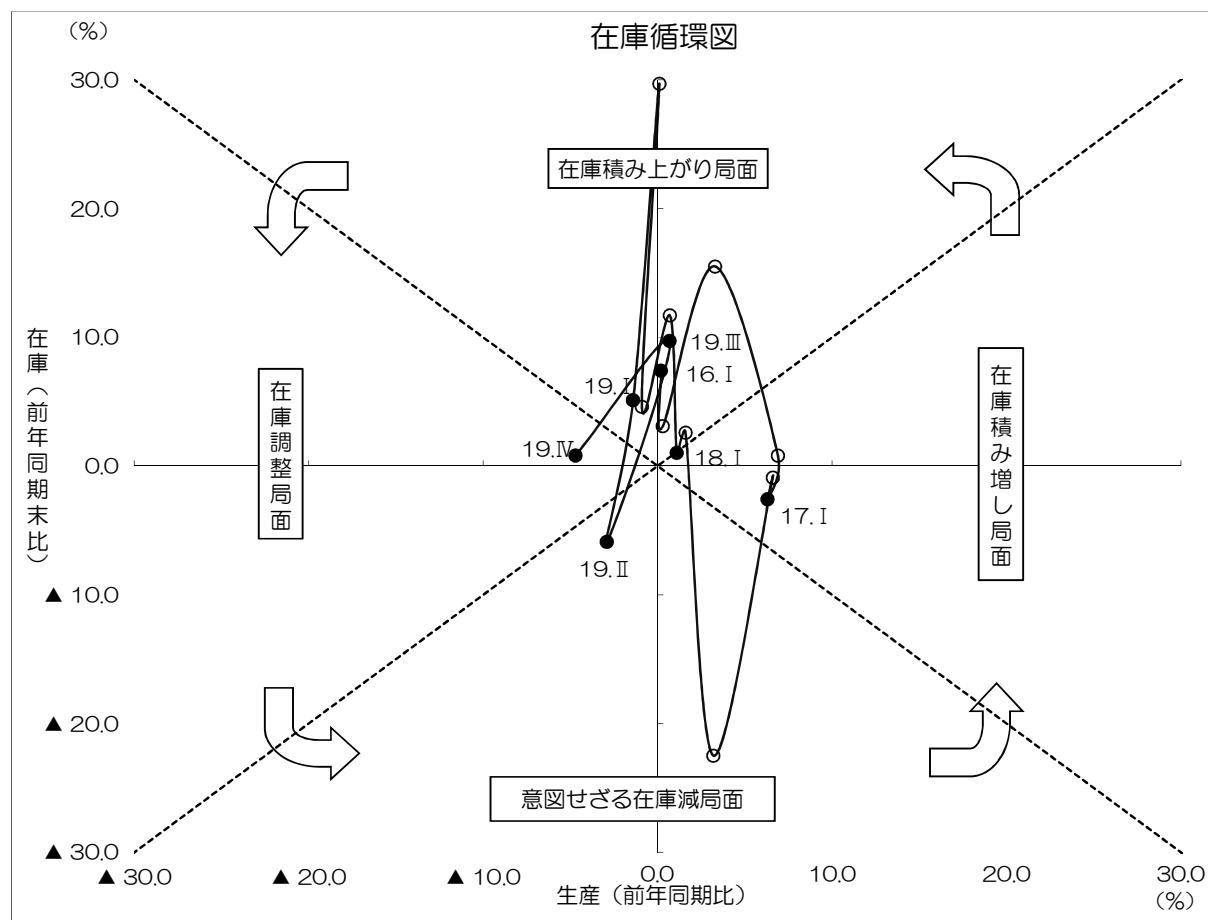


※枠内の品目については、財別の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載



（3）在庫循環図（2016年1～3月期から2019年10～12月期）

在庫循環状況を見ると、2019年は「在庫積み上がり局面」から「意図せざる在庫減局面」へ推移し、その後再び「在庫積み上がり局面」を経て「在庫調整局面」へと推移している。



※在庫循環図の見方

横軸に生産、縦軸に在庫の前年同期（期）比をとり、生産と在庫の関係から現状を判断する。
一般的に、右斜め上45°より下にあるときは景気の回復期で、上にあるときは後退期と考えられる。